

広報のむら

野村地区まちづくり協議会
亀山市野村三丁目 10-9
TEL 82-1449
✉ nomura1449@za.ztv.ne.jp
URI <http://nomura-mk.org/>
132 号

地域民のふれあいで 住みよい町づくりを

四月二十二日(土)野村地区まちづくり協議会の総会(推進委員会)において、平成二十八年度の事業と決算報告、並びに平成二十九年度事業計画と予算案が承認されました。
この事業計画の目的達成には、野村地区内居住の皆様方の絶大なご理解と、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成二十九年度 事業計画書

一、基本方針
発足後四年を迎える野村地区まちづくり協議会は、住民相互の絆を大切にして、住民共通の願いの実現や、地域課題の解決を図るとともに、安全・安心・健康で住みよく、将来へ希望と生きがいを持てるまちづくりを目指し、地域活動を行うことを目的とする。

二、事業の推進

野村地区まちづくり協議会は、これまで三十七年にわたるコミュニティ活動を基礎とし、今後更なる進化を計るべく、各部が相互に連携して円滑な事業の推進を図る。
更に、本年度は地域の将来像、及びまちづくりの基本方針を定める野村地区まちづくり計画を、地域住民の意見を基に策定する。

【総務管理部】

役員会、運営委員会、推進委員会を開催し、会の運営の基本を定め、渉外並びに予算の編成に当たると共に、各部の調整を図る。また、広報を随時発行し各部の事業概要の周知徹底を期す。
更に、ホームページの開設・運営を行う。

【教育文化部】

地域伝統の盆踊り・菊花展・農芸祭・文化祭等をますます発展させ、地域文化の向上と一層の振興を図り、地区住民の相互の結びつきを強め、より愛着のある地域づくりを図る。

【体育部】

運動会やグラウンドゴルフ大会を通して、三世代の交流と親睦を深めるとともに、地域

住民の体力増進及び健全な精神の高揚に努める。

【青少年育成部】

地域に青少年の健全な育成を図る為、地区子ども育成会・地区PTAと連携を保ち、明るい家庭づくりや親子の触れ合いを深め、他人を思う心の醸成を行う。具体的には、ナイターでのグラウンドゴルフ・キックベースボール・ドッジボール、夏休み科学教室、三世代ふれあい事業、更に教育講演会などを企画運営する。

【福祉部】

住民の健康管理、特に高齢者を対象とした健康教室を開き、介護予防や心の健康を呼びかける。また、福祉委員会や女性部の協力を得て、敬老会を開催し、地域老若のふれあいが豊かになるよう努める。福祉委員やボランティアの皆様による高齢者の見守りや、弁当配布、月一回の「いきいきサロン」・「びよびよサロン」の活動を行い、高齢者の生きがいづくりや、子育て支援を行う。

【女性部】

地域まちづくりに、各種団体と連携して取り組み、女性としての向上を目指し、以下のふれあい事業の推進を図る。青少年育成部と協同して、ラジオ体操や三世代交流。福祉部と協同して、敬老会や健康教室。地域住民と親睦をかねての研修旅行実施など、高齢者や子供たちとの交流を深め、児童の健全育成に努める。

【防災・防犯部】

安全・安心で住みよいまちづくりをめざし、市役所、亀山警察署や消防署等の協力を得て以下の事業を行う。

① 市危機管理局による市総合防災訓練(10/29)の対象地域に指定され、訓練活動の完

遂を期す。
② 各地区の要支援者見守りネットワーク充実を図る。
③ 学童や高齢者の交通安全対策の推進。
④ 野村地区内の迷惑駐車等の全廃を図っていく。
⑤ 空家・空地の防災管理を行う。
【地域環境部】
① 歴史を感じる街づくり。
歴史街道野村を地域活性化に活用すべく今年度も歴史を学ぶ機会を提供していきます。特に今年度は忍山神社2、100年祭があり、忍山遺跡、野村遺跡から、古代の生活を学ぶよう、出土品等の展示や講演会を開催する。又改修工事が完了した旧佐野家については、市まちなみ文化財室と協力し、歴史遺産の有効な活用方法を模索する。
② 三世代で楽しめる街。
三世代が楽しく散歩できる「花街道」、楽しく遊べる竜川流域。そんな地域の憩いの場作りを毎月一回の整備作業を継続し進めていきます。各専門部さんには今年度も協力をお願いし、季節の草花を植えたり、樹木を植えたり雑草を取り除いたり「ワイワイガヤガヤ」楽しみながら作業出来るようすすめてまいります。重機等をお持ちの方は非ご協力をお願いします。更に、竜川に「ホタル」の繁殖作業を進めます。



役員・専門部会紹介

会長 今西康隆
副会長 森下文勝 牧 正吾 高橋 清
会 計 安藤克己
監 事 水谷洋征 桜井正登志
顧 問 服部孝規 岡本公秀 中川勝之

◇ 総務管理部

部 長 笹山 霞
副部長 渡瀬孝久 小川 充
部 員 天野 寛 安藤克己 伊藤昭臣
岡本 博 曾我嘉治 高橋直夫
中川勝之 水谷洋征 平澤綱三
渡瀬晴夫 吉田 允 平井裕子
櫻井正登志 中村佳代子

◇ 教育文化部

部 長 村山輝夫
副部長 櫻井源一 若林秀夫
部 員 稲垣正弘 欠田一美 小林悦子
小川吉秋 櫻井文子 関司賢司
鈴木達雄 高村茂拓 竹内芳郎
谷 明 冬柴 純 村山 孝
山本恵三 渡瀬士郎
田中壽美子

◇ 体育部

部 長 谷口 寛
副部長 渡瀬晴夫 小西登喜夫 小林悦子
部 員 高橋 清
白石あけみ 浅沼正昭 池村武人
伊藤光代 駒田節生 駒田正志
齋東みき子 櫻井文子 佐野秀子
谷 敏子 藤森 晋 宮本克美
若林貞子 渡瀬士郎

◇ 青少年育成部

部 長 落合征幸
副部長 森下文勝 長谷川満 小林和治
部 員 浅田正雄 植田恵昭 坂 信之
泊 裕美
中尾正治 西村榮二 若林義信
岩田由貴子 大谷綾子 下村 潤
河岸有里 西園さゆり 渡瀬佳子
遠藤弘美 島 陽子 近藤裕子
千種直人 前原勇司 麻生宏幸

◇ 福祉部

部 長 山脇 博
副部長 今井新一郎 内田千恵子 谷 敏子
部 員 伊東 米 岡田三枝子 小川 登
欠田 基 小林悦子 齋東みき子
奥村 彰 多田照和 笹山ふみ子
徳田 剛 服部厚子 藤森まゆみ
森口健治 渡瀬百合子

◇ 女性部

部 長 関司悦子
副部長 森下尚子 長谷川静子 高橋輝子
部 員 渡瀬芳子 齋東みき子 安嶋秀子
渡瀬八千代 西村芙美子
渡瀬百合子 徳田信子 山脇敏子
今西 操 林 厚子 永島み志子
藤森まゆみ 田中壽美子
桜井さち子 農業順子 河村美樹

◇ 防災・防犯部

部 長 横山正敏
副部長 橋爪寛文 矢野則三 竹内芳郎
部 員 一色田耕一 大山 龍 岡本笑子
草川 隆 黒川 毅 駒田千里
駒田隆司 坂 謙一 櫻井正登志
那須幸生 津曲則男 菱沼弘次
前田大介 増村邦夫

◇ 地域環境部

部 長 奥村 彰
副部長 浅田正雄 櫻井睦浩 坂下芳文
部 員 大石住夫 小野 豊 金木成輔
駒田 貢 榊原鐵雄 桜井 昇
森本孝一 高村茂拓 曾我部周二
橋爪寛文 山本恵三 津曲則男
一年間よろしく
お願いします。



平成 29 年度地域のお世話をさせていただく各委員の皆様をご紹介！

民生児童委員 野村第一～第四・北野・野村住宅地区担当 渡瀬百合子
南野地区担当 服部厚子 野村団地地区担当 奥村 彰
市青少年補導委員 池村武人 浅田正雄 **市防犯委員** 横山正敏 坂 謙一 前田大介
市スポーツ推進委員 佐野 仁 **市青少年育成指導委員** 中尾正治
市青少年育成市民会議代議員 笹山 霞 (広報) 小林和治 (育成)
横山正敏 (非行防止) 関司悦子 (家庭)
福祉委員 ◎ 福祉委員会代表 藤森まゆみ
伊東 米 服田弘子 千種田づ子 内田千恵子 渡瀬善子 若林貞子 櫻井とも子 小林悦子
関司悦子 森下尚子 西村芙美子 長谷川静子 谷 敏子 安嶋秀子 渡瀬八千代 渡瀬千恵子
水原浩子 今西 操 笹山ふみ子 桜井さち子 林 厚子 高橋輝子 岡田三枝子 植田美貴子
山脇敏子 徳田信子



平成 28 年度活動費決算書

収入の部 (単位 円)	
科 目	決 算 額
市補助金	761,934
補助金	160,000
地元負担金	346,750
前年度繰越金	467,671
雑 収 入	379,050
そ の 他	54,566
合 計 額	2,169,971

支出の部 (単位 円)

科 目	決 算 額
事 業 費	1,276,144
会 議 費	42,963
事 務 費	335,270
積 立 金	10,000
予 備 費	59,444
次年度繰越金	446,150
合 計 額	2,169,971

平成 29 年度活動費予算書

収入の部 (単位 円)	
科 目	予 算 額
市交付金	953,000
他の補助金	20,000
負 担 金 (会費)	347,400
繰 越 金	446,150
雑 収 入	380,010
その他助成金	160,000
合 計 額	2,306,560

支出の部 (単位 円)

科 目	予 算 額
事 業 費	1,470,000
会 議 費	30,000
事 務 費	373,000
積 立 金	10,000
予 備 費	423,560
合 計 額	2,306,560

平成 28 年度指定管理料決算書

指定管理料 2,877,000 円
執行額 2,848,910 円
市返還額 28,090 円

平成 28 年度積立金決算書

前年度繰越金 955,204 円 本年度繰入 10,013 円 本年度支出 41,000 円
差引合計額 924,217 円 (平成 29 年度へ繰越)